

がん種

骨髄異形成症候群

レジメン名

ビダーザ皮下注療法

番号	薬剤名	投与量	投与方法	投与時間	備考		投与日												
							0	1	2	3	4	5	6	7	…	28			
1	カイトリル錠2mg	1錠	内服	投与開始1時間前			○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	ビダーザ注射用	75mg/m ²	皮下注		調製後1時間以内に使用		○	○	○	○	○	○	○	○					
2	注射用水				1バイアルにつき注射用水 4mLで調製		○	○	○	○	○	○	○	○					

1コース期間

28日

総コース数

制限なし

コース中の休薬の規定	ケード ³ 以上の非血液毒性が発現した場合、治療開始前の状態に回復するまで休薬
減量規定及び中止基準	<p>○血液学的検査値による投与量調節</p> <p>a) 治療開始前値がWBC\geq3,000/mm³、neutro\geq1,500/mm³かつPlt\geq75,000/mm³の全てを満たす患者 -当該クールの最低値：neutro<1,000/mm³又はPlt<50,000/mm³になった場合、 (1)治療開始前値からの減少量の50%が回復した後、次クールを開始 (2)14日以内に回復しない場合→次クールは50%量に減量 ※回復の定義：血球数\geq最低値+〔0.5×(治療開始前値-最低値)〕</p> <p>b) 治療開始前値がWBC<3,000/mm³、neutro<1,500/mm³又はPlt<75,000/mm³のいずれかに該当する患者 -当該クールの最低値：WBC、neutro又はPltのいずれかが治療開始前値の50%以下に減少した場合(ただし、同時にいずれかに輸血等の処置なしで当該クール開始時よりも増加が認められる場合は該当しない) (1)治療開始前値からの減少量の50%が回復した後、次クールを開始 (2)14日以内に回復しない場合：骨髄細胞密度を測定し、 骨髄細胞密度：$>$50% → 100%量で継続 骨髄細胞密度：$15\sim 50\%$ → 21日以内に回復しなければ、50%量に減量 骨髄細胞密度：$<15\%$ → 21日以内に回復しなければ、33%量に減量</p> <p>○腎機能及び血清電解質による投与量調節</p> <p>・血清重炭酸塩<20mEq/L (静脈血) → 次クールは50%に減量 ・BUN又は血清クリアチンが施設基準値上限を超える場合、治療開始前値の2倍以上に上昇 →施設基準値又は治療開始前値に回復した後、次クールを50%量に減量 ◇次サイクル開始予定日から21日以内に回復しない場合、又は当該毒性が重篤化した場合は中止</p>
增量規定	なし
投与間隔の短縮規定	なし
患者条件	PS：0-1、血液検査値が基準を満たすこと
除外規定	・コントロール不良な併存疾患 ・活動期の感染症
その他	医師の判断で投与期間の短縮あり